

トピックス TOPICS

結婚応援に関する全国連携会議

内閣府では、例年、地方公共団体において結婚支援に取り組む担当者及びNPOを始めとする民間団体の結婚支援者を対象に、結婚支援の更なる充実に向け、情報の共有や機運の醸成を図るため、「結婚応援に関する全国連携会議」を開催している。

2020年度は、2021年2月2日に会議の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されていたことから、オンライン配信による開催となった。

本会議では、有識者による講演及び地方公共団体による事例紹介並びにこれに対する質疑応答を行った。下記において内容の一部を紹介する。

○早稲田大学国際教養学部教授 森川友義 氏による基調講演『「恋愛学」から考える少子化問題の実情と解決策』

森川氏は、早稲田大学において「恋愛学」の講座を持つ恋愛学者であり、恋愛学の著作も多数執筆している。

講演では、「恋愛学」の立場から、若者の恋愛・結婚の問題点として恋愛・結婚しない男女の増加が少子化問題の最大の要因であると述べた。恋愛・結婚しない男女の増加の理由として、結婚の価値が低下していること、男性の年収が減少していること、女性高学歴者の「ベースライン思考」による高望みなどについて言及し、恋愛・結婚を促す解決策として、オンライン婚活の活用や政府の少子化対策、特に未婚男女への投資などについて提案した。

○宮崎県都城市 総合政策課による事例紹介「オンライン婚活セミナー・イベントの実施状況について」

宮崎県都城市は、「婚活サポート事業」を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の流行下の対応として、セミナー・イベントをオンラインで開催するとともに、企業・団体等とも連携しながら、セミナー・イベントの運営方法も含めた検討を行っている。

事例紹介では、2020年度のオンラインによるセミナー・イベントの実施を通じて見えてきた、オンライン開催に係る課題等が紹介された。

○国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系教授 宇野毅明 氏による特別講演「データから読み解く現代の結婚像」

宇野氏は、AIの研究者として、ビッグデータを活用したAIマッチングシステム導入の先駆けである愛媛県の結婚支援システム（「愛結び」）に携わっている。

講演では、「愛結び」のお勧めの設計の考え方について言及し、自分と似た行動をする人をお勧めすることで成約率が上がった事例とともに、通常のITサービスでのお勧め機能と婚活サービスの違いを説明した。さらに、少子化に関するデータや若者像の特徴をあげた上で、婚活支援戦略について言及した。



森川氏による基調講演の様様



宇野氏による特別講演の様様